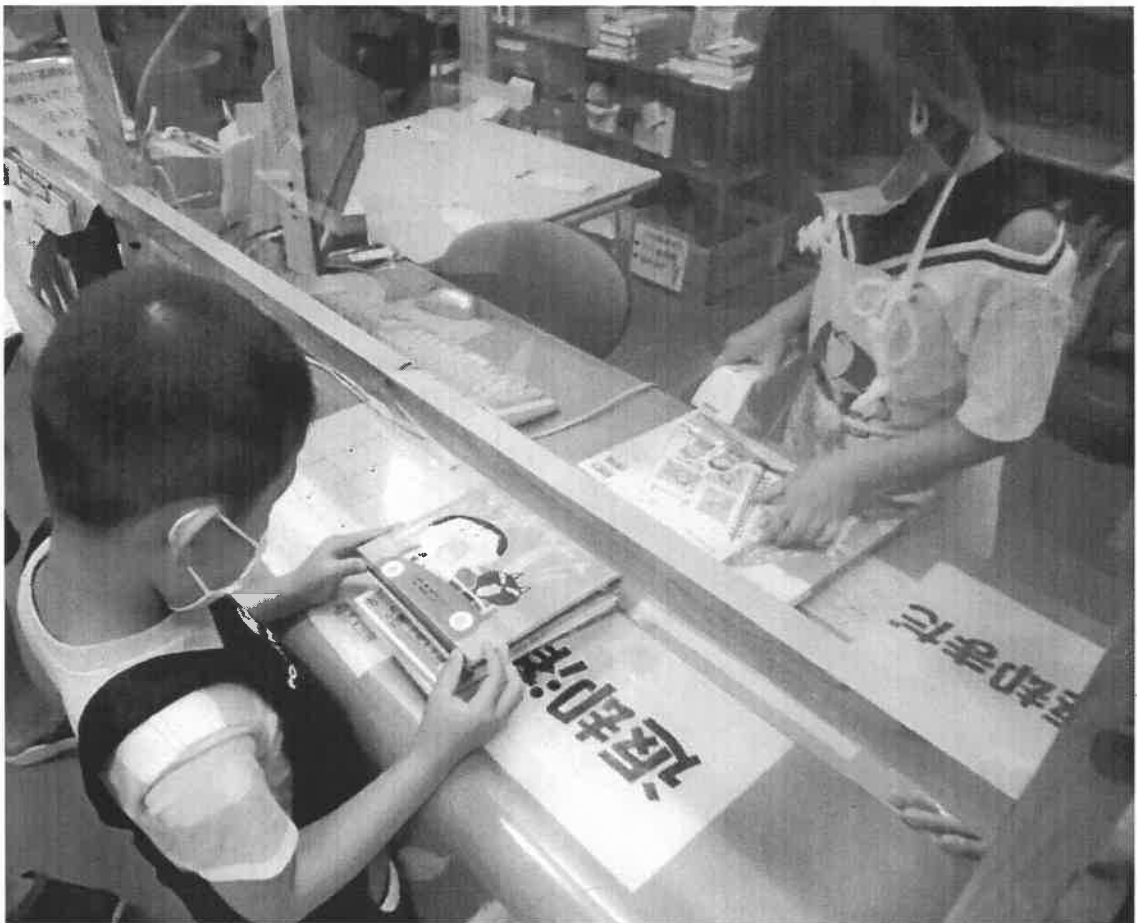


令和4年度

鶴岡市立図書館 要覧
鶴岡市郷土資料館



「本の貸出をしますよ。」ピッ！
図書館ナイトツアー より

目 次

鶴岡市立図書館の沿革	1
施設の概要	3
事業予算の推移	6
図書館利用状況の推移	7
令和3年度 図書館利用統計	8
令和3年度 図書館事業実施状況	17
令和3年度 職場体験・施設見学受け入れ状況	19
令和4年度 図書館・郷土資料館重点施策	20
令和4年度 図書館主要事業	22
令和4年度 移動図書館巡回場所	24
購読新聞・雑誌一覧	25
新聞デジタルアーカイブズ等一覧	27
ボランティア団体の活動	28
鶴岡市郷土資料館の概要	30
令和3年度 郷土資料館事業実施状況 及び 令和4年度 郷土資料館主要事業	31
鶴岡市立図書館協議会委員名簿 及び 郷土資料館運営委員会委員名簿	32
鶴岡市子ども読書活動推進委員会委員名簿	33

〔資料編〕

鶴岡市立図書館設置条例及び施行規則等

鶴岡市郷土資料館設置条例及び施行規則

鶴岡市立図書館本館カレンダー（令和4年）



リードン

鶴岡市立図書館イメージキャラクター

©Tsuchida Yoshiharu



ヨンデール

鶴岡市立図書館の沿革

- 大正 4年 11月 鶴岡公園に建てられた「大宝館」(大正天皇の御即位を記念したもの)内に鶴岡町立図書館が設置される。
前身は、明治44年開設の私立鶴岡図書館である。
- 14年 10月 「大宝館」北側に独立官舎を建設移転する。
- 昭和 3年 1月 館外貸出制度を始める。
- 9年 4月 「大宝館」事業の一環として行なわれていた図書館経営が分離独立する。
- 20年 8月 第2次世界大戦が悪化。夜間開館を中止し、蔵書約2,000冊を東田川郡大泉村(旧朝日村)上田沢の民家10戸に分散疎開する。
同月終戦となり9月26日返還される。
- 24年 8月 全蔵書を日本十進分類法により整理し、蔵書目録を刊行する。
- 25年 4月 図書館法制定。鶴岡市立図書館設置条例が施行される。
- 26年～28年 図書館事業は隆盛を極めた。(日本文学・郷土史等の講座、レコードコンサート、展示会、読書感想文募集など)
- 26年 11月 大宝館を全館使用することとなり再び移転する。
- 30年 4月 町村合併が行なわれ、巡回文庫が始まる。後の自動車文庫である。
- 45年 巡回文庫用の自動車を配置(県やまなみ号の払い下げ)する。
- 46年 4月 旧藤島町立図書館を開館する。
- 49年 5月 自動車文庫専用車としてマイクロバス型の新車を購入。
車名を公募し、「やまびこ号」と命名する。
- 51年 6月 図書館に隣接する旧荘内神社社務所跡に「鶴岡市郷土資料館」を建設する。
職員は兼務体制となる。
- 55年 9月 教育委員会内に「図書館建設審議会」が設置する。
- 59年 5月 新館の建設工事を着工する。
- 60年 3月 新館が竣工する。6月から1ヶ月間移転作業のため休館する。
7月 23日新館が竣工、創立70周年記念式典を挙げる。翌24日から開館する。
- 61年 3月 開館記念文化講演会―五木寛之氏「行間を読む」―を開催する。
- 61年 4月 旧櫛引町立図書館を開館する。
- 62年 9月 第7回山形県図書館研究大会を鶴岡市で開催する。
- 平成 2年 5月 自動車文庫「やまびこ号」を更新する。
- 3年 2月 コンピュータ業務を開始する。
- 4年 4月 県立図書館とのオンライン業務を開始する。
- 7年 2月 郷土出身作家コーナーを設置する。
- 11月 第15回山形県図書館研究大会を鶴岡市で開催する。席上、
創立80周年記念講演会―渡部昇一氏「本・読書・ふるさと」―を開催する。
- 8年 10月 コンピュータを更新する。利用者開放端末を設置する。
- 11年 4月 郷土資料館の展示機能を郷土資料室(図書館2階)に移し、公園内の資料館を休館とする。

- 13年 10月 コンピュータを更新し、図書館ホームページを公開する。
図書館蔵書をインターネットによって、検索し予約ができるようになる。
- 15年 10月 第23回山形県図書館研究大会を鶴岡市で開催する。
- 17年 10月 鶴岡市、藤島町、羽黒町、櫛引町、朝日村、温海町の1市4町1村の合併に伴い、新鶴岡市立図書館(本館と分館)が発足する。
- 18年 10月 コンピュータを更新するとともに、新鶴岡市立図書館システムの導入計画を策定する。
- 19年 4月 朝日分館において図書館システムを稼動する。
- 20年 1月 馬場町にあった「郷土資料館」を解体する。
図書館2階の「郷土資料室」を「郷土資料館」に変更、図書館に併設となる。
- 20年 5月 藤島、羽黒、櫛引、温海各分館との図書館システムオンライン稼動する。
貸出冊数の上限を10冊に変更する。
- 21年 3月 自動車文庫「やまびこ号」を更新し、地元出身の絵本作家土田義晴氏の原画をラッピングする。
- 22年 3月 自動車文庫「やまびこ号」に描かれている図書館のイメージキャラクターの名称を公募し、ライオンは「ヨンデール」オオカミは「リードン」とする。
- 23年 10月 第31回山形県図書館研究大会を鶴岡市で開催する。
図書館開館100周年(平成27年)記念プレ事業として文化会館を会場に「谷川俊太郎朗読コンサートin鶴岡」を実行委員会形式で開催する。
- 25年 1月 「佐藤賢一が語る新徴組と幕末」を開催する。
2月 図書館システムを更新する。期限票がレシートになる。
- 26年 7月 鶴岡市子ども読書活動推進委員会を設置する。
- 27年 4月 鶴岡市子ども読書活動推進計画を施行する。
8月 開館100周年記念式典・記念講演、阿刀田高氏「周平もひさしも読書はみんなおもしろいぞ」他、企画展示6事業、講演会等10事業を開催する。
- 28年 9月 山形小説家・ライター講座第1回鶴岡出張講座を開催する。(以降毎年開催)
[第1回 講師 三浦しをん氏、池上冬樹氏]
- 29年 1月 羽黒分館、新羽黒庁舎に併設移館する。
3月 『鶴岡市立図書館100年史 鶴岡市立郷土資料館40年史』発刊する。
『通史の中の庄内』(鶴岡市立図書館百周年記念歴史講演会講演録)を発刊する。
- 30年 2月 図書館システムを更新する。
- 31年 3月 第2次鶴岡市総合計画の第3章学びと交流に「市民の読書活動の奨励の推進」が明文化された。
- 令和 元年 7月 図書館イメージキャラクターを描いた新しいデザインの利用カードを制作し、小学1年生全児童に配布する。
- 2年 3月 第2次鶴岡市子ども読書活動推進計画を策定する。
『鶴岡市郷土資料館史料集1 菅実秀関係史料集』を発刊する。
- 12月 第2次鶴岡市子ども読書活動推進計画のパンフレットを作成し、関係機関に配付する。
- 3年 7月 本といっしょ〜つるおかの読書の未来を考えよう〜インタビュー記事Web掲載。
10月 第41回山形県図書館研究大会を鶴岡市主会場でリモートで開催する。

施 設 の 概 要

本 館

1 所在地	鶴岡市家中新町14番7号
2 敷地面積	3,841.04㎡
3 延床面積	2,180.70㎡ (1階 1,210.36㎡、2階 970.34㎡)
4 構造	鉄筋コンクリート造2階建
5 工期	着工、昭和59年6月1日 竣工、昭和60年3月25日
6 開館年月日	大正4年11月10日 (現本館開館 昭和60年7月24日)
7 工事費	5億3千万円 (昭和59年度公立社会教育施設整備費補助金 82,000,000円) (2,126.929㎡ 対象事業費 464,760,985円)
8 駐車場	56台
9 図書収容能力	278,000冊 (内 開架 75,000冊)
10 開館時間	平日：9時30分～19時 (12月～2月は18時) 土・日・祝日：9時30分～17時
11 休館日	月曜日 (祝日の場合は火曜日)、年末年始 (12月29日～1月3日) 特別図書整理期間、年度末統計処理日

【 1 階 】

- コントロールカウンター 利用カードの交付や館内の案内、貸出返却、予約、コピー、読書相談、レファレンス (参考相談) などを行います。
- 一般開架室 貸出用の一般図書が置かれており、自由に選ぶことができます。
- 調査読書室 40人席で、隣接の開架室から自由に本を選んで調査、読書ができます。
- ブラウジング (軽読書) コーナー 新聞や雑誌を、くつろいだ雰囲気の中でゆっくりと楽しめます。
- こども室 ものがたり・絵本・紙芝居などがたくさん揃っており、ジュータンが心地よい幼児コーナー、楽しい紙芝居や読み聞かせのできるおはなしコーナーもあります。

【 2 階 】

- 郷土資料館 当地方の史料 (古文書・絵図など) を調査収集するとともに、これに専門的な整理を施して保管し一般に公開します。
また、館内閲覧用の郷土図書も揃っています。
- 展示コーナー 郷土の歴史を物語るいろいろな史料を常時展示しています。
- 講座室 80人席のスペースがあります。
- 閉架書庫 図書、雑誌、新聞と20万点以上の古文書などを収めています。

藤島分館

- 1 所在地 鶴岡市藤島字山ノ前99 (東田川文化記念館併設)
- 2 開館年月日 昭和46年4月 (現分館開館 平成8年6月)
- 3 図書収容能力 20,000冊
- 4 開館時間 9時~17時
- 5 休館日 月曜日、年末年始 (12月29日~1月3日)

羽黒分館

- 1 所在地 鶴岡市羽黒町字荒川字前田元89 (羽黒庁舎併設)
- 2 開館年月日 平成17年10月1日 (現分館開館 平成29年1月)
- 3 図書収容能力 16,000冊
- 4 開館時間 9時~18時 (土・日・祝日は9時~17時)
- 5 休館日 年末年始 (12月29日~1月3日)

楡引分館

- 1 所在地 鶴岡市上山添字文栄60 (楡引情報センター併設)
- 2 開館年月日 昭和61年4月
- 3 図書収容能力 20,000冊
- 4 開館時間 9時~18時 (土・日・祝日は9時~17時)
- 5 休館日 月曜日 (祝日の場合は火曜日)、年末年始 (12月29日~1月3日)

朝日分館

- 1 所在地 鶴岡市下名川字落合220 (朝日中央コミュニティセンター併設)
- 2 開館年月日 平成17年10月1日
- 3 図書収容能力 20,000冊
- 4 開館時間 9時~18時 (土・日・祝日は9時~17時)
- 5 休館日 月曜日 (祝日の場合は火曜日)、年末年始 (12月29日~1月3日)

温海分館

- 1 所在地 鶴岡市温海戊577-1 (温海ふれあいセンター併設)
- 2 開館年月日 平成17年10月1日
- 3 図書収容能力 10,000冊
- 4 開館時間 9時~17時
- 5 休館日 年末年始 (12月29日~1月3日)

事業予算の推移（当初予算）

（単位：千円）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
報 酬	107	107	107
報 償 費	712	487	648
旅 費	280	231	217
需 用 費	10,240	9,815	11,137
消耗品費	2,976	3,108	2,924
燃 料 費	1,612	1,395	1,693
食 糧 費	47	16	21
印刷製本費	1,007	993	1,659
光熱水費	3,975	3,805	4,049
修 繕 費	623	498	791
役 務 費	566	583	574
通信運搬費	523	537	537
手 数 料	43	46	37
委 託 料	6,905	6,901	6,739
使用料及び賃借料	6,523	6,374	6,901
工 事 請 負 費	3,700	15,200	3,000
備 品 購 入 費	16,000	16,000	15,200
負担金補助及び交付金	71	71	71
総 額	45,104	55,769	44,594

図書館利用状況の推移

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
人口（令和4.3.31現在）		124,697人	123,146人	121,365人
蔵書冊数（令和4.3.31現在）		404,515冊	403,566冊	408,174冊
登録者総数（令和4.3.31現在）		39,366人	41,818人	44,508人
新規登録者数		2,894人	2,452人	2,690人
開館日数		300～358日	269～323日	299～357日
移動図書館運行日数		156日	140日	144日
入館者数		237,075人	180,127人	202,947人
貸出利用数(団体含む)		107,011	89,448	102,200
館内	個人貸出	97,677人	82,775人	94,050人
	団体貸出	1,559	1,093	1,285
移動図書館	個人貸出	7,366人	5,190人	6,427
	団体貸出	409	390	438
貸出利用冊数		458,299冊	402,093冊	445,909冊
館内	個人貸出	406,063冊	358,359冊	396,636冊
	団体貸出	19,886冊	18,388冊	16,577冊
移動図書館	個人貸出	20,894冊	15,287冊	20,225冊
	団体貸出	11,456冊	10,059冊	12,471冊
(団体貸出計)		31,342冊	28,447冊	29,048冊
1日当たりの入館者数		741人	619人	630人
1日当たりの貸出利用人数(個人)				
館内(貸出利用人数/開館日数)		305.2人	284.5人	292.1人
移動図書館(貸出利用人数/運行日数)		47.2人	37.1人	44.6人
1日当たりの貸出利用冊数(個人)				
館内(貸出冊数/開館日数)		1,268.9冊	1,231.5冊	1,363.0冊
移動図書館(貸出冊数/運行日数)		133.9冊	109.2冊	140.5冊
1人1回当たりの貸出利用冊数(個人)				
館内(貸出冊数/利用人数)		4.2冊	4.3冊	4.2冊
移動図書館(貸出冊数/利用人数)		2.8冊	2.9冊	3.1冊
登録者の年間利用冊数 (貸出利用冊数(個人)/登録者総数)		10.8冊	8.9冊	9.4冊
登録率(登録者総数/人口)		31.6%	34.0%	36.7%
人口1人当たりの貸出冊数 (貸出利用冊数(団体・BM含む)/人口)		3.7冊	3.3冊	3.7冊

※計算における開館日数は6館の平均日数を使用

令和3年度 図書館利用統計

■本館

(1)入館者数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開館日数(日)	300	269	299
入館者数(人)	189,293	141,825	159,502
1日平均(人/日)	631	527	533

(2)登録者数

(人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	登録者総数(全館)
新規登録(個人)	2,894	2,452	2,424	44,508

(3)貸出利用者数(団体含む)

(人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
館内	77,582	64,289	72,529
移動図書館	7,775	5,580	6,865
合計	85,357	69,869	79,394

(4)貸出図書冊数

(冊)

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	一般図書	児童図書	一般図書	児童図書	一般図書	児童図書	
個人	館内	225,657	95,356	197,732	82,192	211,465	97,798
	移動図書館	6,423	14,471	5,012	10,275	7,211	13,014
団体貸出	3,313	19,453	3,421	18,189	4,000	19,846	
小計	235,393	129,280	206,165	110,656	222,676	130,658	
録音図書他	3,868		2,634		2,624		
合計	368,541		319,455		355,958		

(5)レファレンス件数

(件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
口頭	441	263	183
電話	63	115	67
文書	19	46	40
合計	523	424	290

(6)相互貸借

(冊)

貸出	696
借受	304

※分館分も含む

(7) 予約図書数

(件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一般図書	33,456	30,058	34,083
児童図書	5,824	6,059	9,402
雑誌	1,390	1,379	1,550
A V	48	42	67
合計	40,718	37,538	45,102
うちウェブ予約件数	19,275	20,313	24,664

※分館分も含む

(8) 団体貸出 (移動図書館含む)

(冊)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用団体数	183	119	164
貸出冊数	22,776	21,619	23,867

(9) 複写件数

(件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
依頼件数	1,475	1,053	1,185
複写枚数	15,746	11,386	11,077

(10) 移動図書館運行状況

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
駐車場数		56	56	55
開設日数(日)		156	140	144
延べ開設数		575	554	607
利用者人数 (人)	男	3,021	2,150	2,664
	女	4,345	3,040	3,763
	計	7,366	5,190	6,427
貸出冊数 (冊)	一般図書	8,252	6,690	9,027
	児童図書	24,098	18,656	23,669
	録音図書等	0	0	0
	計	32,350	25,346	32,696
	(うち団体貸出)	11,456	10,059	12,471

(11) 蔵書受入数

(冊)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度			総計
				受入数	除籍数	計	
一般図書	受入	4,094	3,721	3,627	3,410	217	196,469
	うち寄贈	686	919	764			
児童図書	受入	1,614	1,543	1,364	2,131	-767	63,735
	うち寄贈	73	42	100			
移動図書館	受入	1,473	1,659	1,449	25	1,424	
	うち寄贈	2	34	12			
紙芝居	受入	78	149	63	9	54	2,381
	うち寄贈	0	0	0			
小花文庫		0	0	0	0	0	1,358
相良文庫		0	0	0	0	0	1,247
林文庫		0	0	0	0	0	376
森文庫		0	0	0	0	0	155
誠朗文庫		0	0	0	0	0	5,550
C D	受入	0	2	0	0	0	1,333
	うち寄贈		2	0			
大活字本		61	63	62	4	58	2,126
郷土の光	受入	13	8	9	0	9	2,095
	うち寄贈	0	0	0			
DVD	受入	2	10	2	0	2	505
	うち寄贈	2	10	2			
CD-ROM				33	0	33	211
総数	受入	7,335	7,155	6,609	5,579	1,030	277,541
	うち寄贈	763	1,007	878			

※令和2年度統計より、移動図書館蔵書総計を本館に含むものとする。

(12)分類別蔵書受入数

①本館〔一般書〕 本館

BM

BM含む(冊)

	令和3年度			令和3年度			総数
	受入数	除籍数	増加冊数	受入数	除籍数	増加冊数	
総記	152	137	15	4	0	4	19
哲学	125	177	-52	14	0	14	-38
歴史	290	54	236	14	0	14	250
社会科学	473	1,054	-581	14	1	13	-568
自然科学	295	297	-2	69	1	68	66
工業	343	754	-411	119	2	117	-294
産業	141	256	-115	13	0	13	-102
芸術	210	392	-182	25	1	24	-158
言語	75	53	22	6	0	6	28
文学	990	236	754	408	3	405	1,159
郷土図書	533		533	0	0	0	533
郷土の光文庫	9		9	0	0	0	9
大活字本	60	4	56	2	0	2	58
計	3,696	3,414	282	688	8	680	962

②本館〔児童書〕 本館

BM

BM含む(冊)

	令和3年度			令和3年度			総数
	受入数	除籍数	増加冊数	受入数	除籍数	増加冊数	
総記	60	75	-15	7	0	7	-8
哲学	24	26	-2	2	1	1	-1
歴史	21	104	-83	13	1	12	-71
社会科学	67	178	-111	15	1	14	-97
自然科学	95	698	-603	14	6	8	-595
工業	45	212	-167	6	0	6	-161
産業	25	95	-70	5	0	5	-65
芸術	28	153	-125	6	3	3	-122
言語	12	50	-38	1	0	1	-37
文学	252	387	-135	198	2	196	61
絵本	735	153	582	496	3	493	1,075
紙芝居	63	9	54	0	0	0	54
計	1,427	2,140	-767	763	17	746	-21

■藤島分館

(1)入館者数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開館日数(日)	308	277	308
入館者数(人)	17,905	12,865	14,898
1日平均(人/日)	58	46	48

(2)登録者数 (人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新規登録者数	114	73	70

(3)貸出利用者数(団体含む) (人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
貸出利用者数	5,249	4,490	5,018

(4)貸出図書冊数 (冊)

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	一般図書	児童図書	一般図書	児童図書	一般図書	児童図書
個人	13,045	6,801	12,065	5,532	12,364	6,233
団体貸出	192	411	57	69	7	13
小計	13,237	7,212	12,122	5,601	12,371	6,246
録音図書他	3		1		2	
合計	20,452		17,724		18,619	

(5)予約図書数 (件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一般	468	505	716
児童	15	20	24
団体	23	78	45
合計	506	603	785

(6)蔵書受入数 (冊)

	受入数	除籍数	増減	総計
一般図書	411	108	303	28,781
児童図書	205	1	204	
合計	616	109	507	

※うち寄贈数(55)

(7)分類別蔵書受入数 (冊)

	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	その他	絵本	郷土図書	計
一般図書	9	11	26	49	41	38	15	18	7	175	5		17	411
児童図書	5	4	16	6	18	9	4	7	2	34	1	99		205

■羽黒分館

(1)入館者数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開館日数(日)	358	321	357
入館者数(人)	9,567	7,925	8,626
1日平均(人/日)	27	25	24

(2)登録者数 (人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新規登録者数	135	109	107

(3)貸出利用者数(団体含む) (人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
貸出利用者数	5,225	4,525	5,397

(4)貸出図書冊数 (冊)

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	一般図書	児童図書	一般図書	児童図書	一般図書	児童図書
個人	11,366	7,470	11,467	7,236	13,158	7,872
団体貸出	792	825	1	583	5	312
小計	12,158	8,295	11,468	7,819	13,163	8,184
録音図書他	5		2		9	
合計	20,458		19,289		21,356	

(5)予約図書数 (件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一般	840	1,325	1,346
児童	20	12	108
団体	521	85	93
合計	1,381	1,422	1,547

(6)蔵書受入数 (冊)

	受入数	除籍数	増減	総計
一般図書	441	0	441	21,184
児童図書	256	0	256	
合計	697	0	697	

※うち寄贈数(134)

(7)分類別蔵書受入数 (冊)

	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	その他	絵本	郷土図書	計
一般図書	5	8	7	20	18	52	34	23	4	249	21			441
児童図書	6	3	5	12	18	10	5	2	1	46	2	146		256

■櫛引分館

(1)入館者数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開館日数(日)	308	277	308
入館者数(人)	6,143	5,383	6,279
1日平均(人/日)	20	19	20

(2)登録者数 (人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新規登録者数	77	30	40

(3)貸出利用者数(団体含む) (人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
貸出利用者数	3,856	3,528	3,898

(4)貸出図書冊数 (冊)

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	一般図書	児童図書	一般図書	児童図書	一般図書	児童図書
個人	8,163	9,352	7,785	8,132	8,677	8,917
団体貸出	467	1,018	405	739	166	471
小計	8,630	10,370	8,190	8,871	8,843	9,388
録音図書他	4		2		11	
合計	19,004		17,063		18,242	

(5)予約図書数 (件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一般図書	221	229	394
児童図書	54	44	92
団体	239	178	58
合計	514	451	544

(6)蔵書受入数 (冊)

	受入数	除籍数	増減	総計
一般図書	246	0	246	30,625
児童図書	207	0	207	
合計	453	0	453	

※うち寄贈数(53)

(7)分類別蔵書受入数 (冊)

	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	その他	絵本	郷土図書	計
一般図書	3	12	11	23	20	41	10	31	2	93				246
児童図書	2	2	18	9	11	3	1	3	2	67	3	86		207

■朝日分館

(1)入館者数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開館日数(日)	308	278	308
入館者数(人)	5,682	4,393	5,017
1日平均(人/日)	18	16	16

(2)登録者数 (人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新規登録者数	24	21	21

(3)貸出利用者数(団体含む) (人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
貸出利用者数	2,378	2,421	2,920

(4)貸出図書冊数 (冊)

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	一般図書	児童図書	一般図書	児童図書	一般図書	児童図書
個人	5,208	3,094	5,391	2,599	6,165	3,769
団体貸出	212	718	154	639	333	974
小計	5,420	3,812	5,545	3,238	6,498	4,743
録音図書他	0		1		1	
合計	9,232		8,784		11,242	

(5)予約図書数 (件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一般図書	212	286	352
児童図書	59	46	38
団体	133	99	113
合計	404	431	503

(6)蔵書受入数 (冊)

	受入数	除籍数	増減	総計
一般図書	479	0	479	33,933
児童図書	235	0	235	
合計	714	0	714	

※うち寄贈数(114)

(7)分類別蔵書受入数 (冊)

	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	その他	絵本	郷土図書	計
一般図書	5	9	16	27	25	72	7	31	2	274			11	479
児童図書	5	1	7	9	17	2	3	7	0	59	1	124		235

■ 温海分館

(1) 入館者数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開館日数(日)	349	323	354
入館者数(人)	8,485	7,736	8,625
1日平均(人/日)	24	24	24

(2) 登録者数 (人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新規登録者数	62	26	28

(3) 貸出利用者数(団体含む) (人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
貸出利用者数	4,946	4,615	5,573

(4) 貸出図書冊数 (冊)

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	一般図書	児童図書	一般図書	児童図書	一般図書	児童図書
個人	12,639	4,018	12,218	3,376	13,502	4,070
団体貸出	1,115	2,816	1,273	2,908	435	2,456
小計	13,754	6,834	13,491	6,284	13,937	6,526
録音図書他	24		3		29	
合計	20,612		19,778		20,492	

(5) 予約図書数 (件)

	令和元年度	令和2年度	令和2年度
一般図書	1,987	2,123	2,305
児童図書	13	11	23
団体	772	1,413	854
合計	2,772	3,547	3,182

(6) 蔵書受入数 (冊)

	受入数	除籍数	増減	総計
一般図書	562	0	562	16,110
児童図書	351	0	351	
合計	913	0	913	

※うち寄贈数(260)

(7) 分類別蔵書受入数 (冊)

	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	その他	絵本	郷土図書	計
一般図書	12	17	38	41	28	60	11	31	7	291			26	562
児童図書	4	5	13	12	22	12	9	7	3	73	2	189		351

令和3年度 図書館事業実施状況

(1) 本館

事業名	内容	対象	時期	摘要
館内子どもおはなし会	絵本の読み聞かせ・紙芝居他	幼児・小学生 保護者	毎週水・土曜、 第4水・第2日 曜（乳幼児向）	491人参加
おはなし会	絵本の読み聞かせ・紙芝居他	幼児・小学生 保護者	春 5月 冬 12月	32人 60人
手づくり絵本・紙芝居 コンクール	親子・祖父母などで手づくり 絵本、紙芝居作り	幼児・小学生 一般	8月募集 9月表彰・展示	応募点数 絵本 65点 紙芝居 9点
児童読書感想文 コンクール	読書週間記念事業	小学生	7月～募集 10月表彰	応募点数 76点
児童読書感想画 コンクール・感想画展	読書週間記念事業	小学生	9月～募集 11月審査会 展示：12月2日 ～5日	応募228点 入場者数 772人
上野甚作賞短歌募集	上野甚作の功績を讃え短歌を 募集、優秀作品の顕彰	一般 小・中・高生	12月募集 3月表彰	小中高 539首 一般51首応募
つちだよしはる氏 絵本原画展	紙芝居「ポンポコぼんきち ま ちへいく」（童心社） 絵本「おかあさんにおはなしし たいこと」（ほるぷ出版） 鶴岡市立図書館やまびこ号イ ラスト、鶴岡信用金庫カレンダ ー、「本といっしょ」パンフレッ ト表紙の原画	幼児・小学生 保護者	展示：10月26日 ～11月7日	入場者 791人
小学生図書館司書体験	図書館施設見学・カウンター業 務体験他	小学生	6回	12人参加
小学生のための 図書館講座(自然科学編)	「～スロー動画で見たら～ もっとすごいぜ！昆虫」 講師 高島 清明 氏	小学生・保護者	10月16日	31人参加
子ども読書活動推進 講座	「学校図書館を活かす図書主任 のアビリティー」 講師 本間 俊美氏 (小学校図書主任会合同企画)	小学校 図書主任	11月25日	24人参加
事業名	内容	対象	時期	摘要
山形小説家・ライター 講座 鶴岡出張講座	穂村弘氏、池上冬樹氏による講 演等（井上氏はリモート）	一般	3月20日	73人参加

「つるおかの読書の未来を考えよう」寄稿 Web 発信	◇第1回 100周年時図書館長 佐藤巖氏(7月) ◇第2回 高山樗牛賞奨励賞 五十嵐大翔さん(9月) ◇第3回 KIDS DOME SORAI 館長 渡邊敦氏(11月) ◇第4回 読書のまち鶴岡 代表 黒羽根洋司氏(1月) ◇第5回 高山樗牛賞奨励賞 富樫永理奈さん(3月)	一般	7月～3月	5回
対面朗読ボランティア派遣	紙芝居・エッセイの朗読他	視覚障害者 (施設訪問は中止)	水曜日 月1回 計 12回	12人参加
学校図書館支援員の派遣	学校図書館の支援と連携	小学校・中学校	通年	支援校 24校 回数 79回
リサイクル本プレゼント	除籍本等のプレゼント	一般	8月6日～9日	
ブックスタート事業への協力	おすすめ絵本読み聞かせの実演	乳児と保護者	通年	

(2) 分館事業

事業名	内容	対象	時期	概要
おやこ読書会 (藤島分館)	絵本の読み聞かせ 紙芝居他	幼児・小学生 保護者	休止	
おはなし会 (羽黒分館)	絵本の読み聞かせ 紙芝居他	幼児・小学生 保護者	4回	19人参加
昔話を楽しむ会 (榎引分館)	地域に古くから伝わる 昔話の紹介	幼児・小学生 保護者	3回	18人参加
おはなしひろば (榎引分館)	絵本の読み聞かせ 紙芝居他	幼児・小学生 保護者	4回	31人参加
おはなし会 (朝日分館)	絵本の読み聞かせ 紙芝居他	幼児・小学生 保護者	8回	36人参加
おはなし会 (温海分館)	絵本の読み聞かせ、紙芝居他 ・七夕おはなし会 ・クリスマスおはなし会	幼児・小学生 保護者	7月4日	19人参加
			12月5日	16人参加

令和3年度 職場体験・施設見学 受け入れ状況

(1) 職場体験 (インターンシップ)

受入館	実施日	実施校	人数(学年)
本館	6月15日～16日	鶴岡高等養護学校	1人(2年)
	7月8日～9日	豊浦中学校	2人(2年)
	7月27日～29日	鶴岡中央高等学校	2人(2年)
	8月3日～5日	鶴岡工業高等学校 定時制	2人(3年)

(2) 施設見学

受入館	実施日	実施団体	人数(学年)
本館	6月4日	藤島小学校	46人(1年)
	6月8日	湯野浜小学校	21人(2年)
	6月9日	斎小学校	27人(2年)
	6月15日	広瀬小学校	21人(1年)
	6月17日	京田小学校	16人(1年)
	6月22日	豊浦小学校	18人(1年)
	7月6日	大泉小学校	20人(2年)
	9月15日	西郷小学校	11人(2年)
	10月8日	朝暘第六小学校	39人(4年)
	10月28日	朝暘第三小学校	26人(2年)
	11月2日	朝暘第五小学校	58人(2年)
	11月12日	鼠ヶ関小学校	13人(3年)
藤島	10月26日	藤島小学校	9人(2年)
櫛引	6月16日	櫛引西小学校	40人(2年)
温海	7月16日	あつみ小学校	27人(2年)
	8月20日	あつみ小学校	22人(1年)

*人数は引率教員も含む

令和4年度 図書館・郷土資料館 重点施策

■ 図書館

社会の通信手段が普及に伴う情報社会の到来により、市民の学習ニーズがさらに一層多様化・専門化してきているなか、生涯にわたる読書活動や学習活動を支援する施設として、図書館は機能を少しずつ変化させながら、その役割を果たしていきます。

また、読書活動の推進に関係する機関・団体との連携を深めながら「第2次鶴岡市子ども読書活動推進計画」の推進に努めるとともに、これまで実施してきた読書奨励事業の充実を図り、読書環境の整備に努め、「新しい生活様式」のなかで、誰もが利用しやすく、常に質の高いサービスを提供できる図書館づくりを目指します。

1. 図書館サービスの充実

- (1) 本館・分館の連携による図書館サービスの充実
- (2) 自動車文庫「やまびこ号」による移動図書館事業の実施
- (3) 図書館システムによる蔵書管理と資料提供の充実
- (4) レファレンスサービスの充実
- (5) ホームページの充実による図書館情報の発信
- (6) ボランティア団体の育成と協働事業の実施

2. 市民の読書活動の推進

- (1) 市民の学習ニーズ等に応える図書資料の収集・充実
- (2) 市民の読書活動推進事業の実施
- (3) 対面朗読ボランティア派遣事業（福祉施設等と館内での対面朗読の実施）
- (4) 施設、サークル等への団体貸出の実施
- (5) 郷土出身作家コーナーの充実

3. 子どもの読書活動の推進

- (1) 第2次鶴岡市子ども読書活動推進計画の推進
- (2) 子ども読書活動推進事業の実施
- (3) 学校との連携による子ども読書活動の推進
- (4) 7ヶ月健康相談時でのブックスタート事業への協力
- (5) 保育園、幼稚園、その他子どもの各読書活動推進団体との連携・協力
- (6) 子どもの読書活動に対する理解啓発と情報発信

4. 良好な施設環境の整備

- (1) 読書環境充実のための施設整備
- (2) 情報化社会及び新しい生活様式に対応した図書館システム機器の充実
- (3) 図書館本館の新館構想に向けた情報収集と検討

■ 郷土資料館

郷土資料館は、地元だけでなく、全国からの調査・研究のために、多くの方が来館しており、当地方の歴史研究の拠点として大きな役割を果たしています。

今後も、所蔵資料の整理を進めるとともに、市民の方々等が保管している史料の調査を継続実施する中で、貴重な資料が散逸・滅失しないよう情報収集に努め、地域に根ざした資料館づくりに努めます。また、定期的に企画展示、歴史講演会、各種講座を開催し、郷土の歴史を多くの方々に知っていただけるような機会を提供していきます。

1. 郷土史の調査・研究のための史料の収集と整理・活用

- (1) 古文書等郷土資料の調査、収集と整理、活用及び公開
- (2) 郷土出版物、庁内出版物及び郷土出身者の著書の重点収集と整理
- (3) 郷土資料散逸防止の啓発
- (4) 郷土資料の適切な保存のための収蔵庫の確保

2. 地域の情報拠点としての事業の推進

- (1) 郷土に関する各種相談への対応と史料提供
- (2) 企画展示等による市民への資料公開
- (3) 各種広報媒体等を活用した郷土資料館の周知
- (4) 歴史講演会等を通じた新たな研究成果の提供

3. 所蔵史料の利用促進

- (1) 所蔵史料のデータベース化
- (2) 所蔵資料の資料目録発行に向けた整理・調査の継続
- (3) 所蔵資料のデジタル化
- (4) 諸家文書目録（既発行分）の利用促進

4. 郷土理解の推進と地域文化の振興

- (1) 古文書解読及び郷土史関連の講座の開催
- (2) 庄内歴史懇談会、温故の会等、郷土史関係団体への協力と連携

令和4年度 図書館 主要事業

(1) 本館

事業名	内容	対象	時期
子どもおはなし会	絵本の読み聞かせ・紙芝居他	幼児・小学生 保護者	毎週水・土曜 第2日曜・第4水曜(乳幼児)
春のたねまきおはなし会	素語り、人形劇、パネルシアター、 エプロンシアター (少人数版)	幼児・小学生 保護者	4月16日 ～5月14日
冬のおはなし会	人形劇、パネルシアター 大型絵本、絵本展示	幼児・小学生 保護者	未定
手づくり絵本・紙芝居 コンクール	親子・祖父母などで手づくり絵 本、紙芝居作り	幼児・小学生 一般	8月募集 9月表彰・展示
児童読書感想文 コンクール	読書週間記念事業	小学生	7月～募集 10月表彰
児童読書感想画 コンクール・感想画展	読書週間記念事業	小学生	9月～募集 12月表彰・展示
小学生のための図書館講座	虫の講座	小学生・保護者	9月17日
つちだよしはる絵本原画展	絵本の原画を展示	幼児・小学生 保護者	10月25日 ～11月6日予定
中学生への読み聞かせ	素語り・読み聞かせ	中学生	中止
上野甚作賞短歌募集	上野甚作の功績を讃え短歌を 募集、優秀作品の顕彰	一般 小・中・高生	12月募集 3月表彰
子ども読書活動推進講座	読書活動を推進する講座	一般	7月24日
山形小説家・ライター講座 鶴岡出張講座	あさのあつこ氏、池上冬樹氏による 提出作品の講評・講演等	一般	9月18日
リサイクル本プレゼント	除籍本等のプレゼント	一般	夏・冬予定
おはなしボランティア派遣	素語り・ブックトーク・パネルシ アター	学校・地区	中止

事業名	内容	対象	時期
図書館ナイトツアー	図書館施設見学・カウンター業務の体験他	小学生	8月7日 8月27日
対面朗読ボランティア派遣	紙芝居・エッセイの朗読他	福祉施設入居者等	図書館での対面のみ実施 施設訪問は休止
学校図書館支援員の派遣	学校図書館の支援と連携	小学校・中学校	5月～3月
ブックスタート事業への協力（読み聞かせ）	おすすめ絵本読み聞かせの実演	乳児と保護者	通年

(2) 分館事業

事業名	内容	対象	時期
おやこ読書会 (藤島分館)	絵本の読み聞かせ 紙芝居他	幼児・小学生 保護者	12月、3月 開催予定
おはなし会 (羽黒分館)	絵本の読み聞かせ 紙芝居他	幼児・小学生 保護者	偶数月 第3土曜日
昔話を楽しむ会 (楡引分館)	地域に古くから伝わる 昔話の紹介	幼児・小学生 保護者	毎月 第2土曜日
おはなしひろば (楡引分館)	絵本の読み聞かせ 紙芝居他	幼児・小学生 保護者	毎月 第3土曜日
おはなし会 (朝日分館)	絵本の読み聞かせ 紙芝居他	幼児・小学生 保護者	毎月 第2土曜日
おはなし会 (温海分館)	絵本の読み聞かせ 紙芝居他	幼児・小学生 保護者	七夕おはなし会 クリスマスおはなし会

令和4年度 移動図書館巡回場所

学区及び地域	巡 回 場 所	場所数
第一学区	第一学区CC	1
第三学区	ケアハウス鶴ヶ丘、シニアサポートともえ	2
第四学区	稲生町公民館	1
第五学区	朝暘町公民館、松原保育園	2
齋	齋小学校	1
黄金	黄金小学校、黄金保育園、民田保育園	3
湯田川	湯田川CC保育園、JA鶴岡湯田川	2
大泉	農村センター、大泉保育園、大泉学童保育所、大泉小学校	4
京田	京田学童保育所	1
栄	栄CC、栄保育園	2
田川	中組公民館、田川保育園	2
上郷	上郷CC	1
三瀬	三瀬CC、豊浦小学校、三瀬保育園	3
小堅	小堅CC、小波渡（旧小堅CC）、小堅保育園	3
加茂	加茂CC、油戸公民館	2
湯野浜	湯野浜CC、しおん荘	2
大山	大山CC、特別養護老人施設おおやま、思恩園	3
西郷	西郷農村活性化センター、西郷小学校	2
藤島	東栄小学校、渡前小学校、藤島児童館（ふれあいセンター）	4
	ぼっぼの湯	
羽黒	手向地区地域活動センター、大東保育園、貴船保育園、瑞穂の郷	4
櫛引	くしびき東部保育園、くしびき西部保育園、くしびき南部保育園	5
	櫛引南小学校、櫛引西学童保育所	
朝日	朝日保育園	1
温海	鼠ヶ関小学校、あつみ小学校、山戸保育園、鼠ヶ関保育園	5
	温海温泉林業センター	
合計		56

*…新規巡回場所

購読新聞・雑誌一覧 (令和4年9月現在)

■新聞

◎…永年保存 ○…1年保存 *…寄贈

新聞名		本館	藤島分館	羽黒分館	櫛引分館	朝日分館	温海分館
1	朝日新聞	○	○			○	
	朝日新聞 (縮刷版)	◎					
2	毎日新聞	◎			○		
3	読売新聞	○		○			
4	産経新聞	○					
5	日本経済新聞	○	○				
6	河北新報	○					
7	山形新聞	◎	○	○*	○	○	
	山形新聞 (縮刷版)	◎					
	山形新聞 (CD-ROM)	◎					
8	荘内日報	◎		○*	○*	○	
9	ニューヨーク・タイムズ	○					
10	毎日小学生新聞	○					
11	しんぶん赤旗	○*					
12	福島民報	○*					
13	福島民友	○*					

■ 雑 誌

◎…永年保存 ◇…3年保存 ○…1年保存 △…保存なし *寄贈

雑誌名	本館	藤島分館	羽黒分館	櫛引分館	朝日分館	温海分館
安心 (2022.8~)					◇	
家の光		◇*				
うかたま		◇				
エコノミスト	◎					
エッセ ESSE				○		
NHKきょうの健康	○	◇				
NHKきょうの料理	◇	◇	◇			
NHK趣味の園芸	○					
NHKすてきにハンドメイド	○	◇	◇			
オール讀物	○					
オレンジページ	○					
カーグラフィック (2022.8~)	◇					
カーマガジン CAR MAGAZINE (~2021.7)	◇					
会社四季報	○					
キネマ旬報	◎					
クーヨン	○					
暮らしの手帖	◎					
クロワッサン	○					
芸術新潮	○					
月刊碁ワールド	◇					
月刊庄内小僧	◎			◇		◎
月刊武道	○*					
子供の科学	◎					
サライ			◇			
サンキュ!						◇
サンデー毎日	○					
J R時刻表	○					
週刊朝日	○					
週刊金曜日	○					
週刊新潮	○					
将棋世界	○					
小説新潮	○					
スポーツグラフィック Sports Graphic ナンバー Number	○					

雑誌名	本館	藤島分館	羽黒分館	櫛引分館	朝日分館	温海分館
住まいの設計	◇					
相撲	◇					
世界	◎					
ダ・ヴィンチ	○					
旅の手帖	○					
短歌	◇					
地方史研究	◎					
中央公論	◎					
釣り東北	◎					
テアトロ (~2014.5)	◎					
天然生活						◇
時の法令 (~2014.4.15)	◎					
日経PC21	○					
日経ヘルス					○	
日本歴史	◎					
NON・NO ハウジングトリビューン Housing Tribune	◇					
俳句	○					
ビーバル BE-PAL フィッシングカフェ Fishing Cafe	○*					
婦人公論	◎	○				
プレジデント	◇					
文学 (~2016.12)	◎					
文學界	◇					
文藝春秋	○	◇			○	
ミセス (~2021.3)	◇					
メンズクラブ	◇					
モア MORE	◇					
やさい畑	○					
ユリイカ (~2020.3)	◇					
リー LEE						○
歴史読本 (~2015.10)	◎					

新聞デジタルアーカイブズ等一覧

	現物保存	マイクロ保存	デジタル化
朝日新聞 ※1	平成29年以降		
地方版	昭和53年以降		
縮刷版	昭和18～19年 昭和23年以降		
毎日新聞	平成 5年以降		
地方版	昭和34年以降		
読売新聞 ※1	平成29年以降		
地方版	昭和34年以降		
産経新聞 ※2	平成27年以降		
日本経済新聞 ※2	平成29年以降		
河北新報 ※2	平成29年以降		
地方版	昭和52年～平成18年		
山形新聞	昭和31年以降	明治9年～昭和23年	明治9年～昭和30年
地方版	全 紙		
縮刷版	昭和63年～平成16年 平成17年4月～CD-ROM		
荘内日報	昭和25年以降	昭和24年～27年	昭和24年～45年
荘内自由新聞	昭和21年～24年	昭和21年～24年	昭和21年～24年
荘内新報	大正5年～昭和15年	大正 5年～昭和15年	大正 5年～昭和15年
鶴岡日報	大正10年～昭和15年	大正10年～昭和15年	大正10年～昭和15年
鶴岡新聞	大正13年～昭和4年		大正13年～15年
鶴岡新報	昭和15年～17年	昭和15年～17年	昭和15年～17年
新 庄 内	昭和 8年～19年		昭和 8年～19年
荘内春秋	昭和 7年～12年		昭和 7年～12年
出羽新報	昭和26年～27年		昭和26年～27年
日刊荘内	昭和29年～30年		昭和29年～30年
田川ニュース	昭和24・32・34年		昭和24・32・34年
荘内タイムス	昭和35年～37年		昭和35年～37年
酒田新聞			明治41年～大正11年
自由市民			昭和24年
公 論			大正13年～14年

※1 地方版以外は2～3年で廃棄

※2 2～3年で廃棄

*デジタル化済のものは現物閲覧不可

ボランティア団体の活動

主な活動地域【鶴岡】

■ 朗読ボランティア「わらしべの会」

- 昭和56年 鶴岡市の障害者福祉都市宣言事業に呼応し、視聴覚障害者に対する録音テープ製作ボランティアを募る。
- 昭和59年 朗読の技術向上を目的に、3ヶ月間の朗読講習会を図書館主催で開催する。(開催回数7回)
- 昭和62年 講習会受講者の有志により、会を設立する。

《活動》 対面朗読、紙芝居

○施設訪問対面朗読(図書館事業)

・月4回(第1土曜日・第4水曜日、第2土曜日)

福祉施設(湯野浜思恩園・しおん荘・友江荘・池幸園)を訪問。

・隔月(奇数月の第2土曜日)

知的障害者施設(愛光園)を訪問。入所者にエッセイ・紙芝居などの対面朗読を行う。

○館内対面朗読(図書館事業)

・月1回(第1水曜日)

■ おはなしボランティア「おはなしポケット」

- 昭和60年 「おはなし会」を開催する。
- 昭和61年 おはなし会の個人ボランティアが協力して「クリスマスえほんまつり」を開催する。
- 平成元年 おはなし会の個人ボランティア有志により会を設立する。
- 平成21年 文部科学大臣表彰受賞

《活動》 絵本の読み聞かせ、素語り、人形劇等

○こどもおはなし会(図書館事業)

毎週水曜日、土曜日

第2日曜日、第4水曜日(乳幼児向け月2回)

○「春のたねまきおはなし会」、「冬のおはなし会」

季節ごとに人形劇やパネルシアターなどをつかったおはなし会を開催。(図書館事業)

○夏の事業「絵本クイズ」、「おすすめの本」など

○派遣事業(図書館事業)

小学校や地域の親子読書会等、紙芝居・絵本の読み聞かせを行う。

主な活動地域【藤島】

■ おはなしボランティア「おはなし玉手箱」

平成2年 藤島町立図書館の司書や利用者の有志でおはなし会を開催する。
平成4年 広報でおはなしボランティアを募り、「おはなし玉手箱」を設立する。

《活動》 ・おやこ読書会 年4回（図書館事業）
・小学校、児童館、公民館にて、おはなし会を開催する。

主な活動地域【榑引】

■ 榑引語りっこの会

平成2年1月 発足

《活動》1 ・昔話を楽しむ会 毎月第2土曜日（図書館事業）
昔話・紙芝居・昔の遊びの紹介など。
・地域内小学校、各自治公民館、老人介護施設等でも依頼に応じて語りを行っている。

■ アナンシサークル

平成8年4月発足

《活動》 ・おはなしひろば 毎月第3土曜日（図書館事業）
紙芝居や絵本の読み聞かせなどを行っている。

主な活動地域【朝日】

■ あさひ読み聞かせの会

平成10年4月発足

《活動》 ・おはなし会 毎月第2土曜日（図書館事業）
・なつのおはなし会、ふゆのおはなし会（図書館事業）
・特別養護老人ホーム「かたくり荘」で月一回、絵本の読み聞かせやエプロンシアターなどを行っている。

主な活動地域【温海】

■ 温海絵本読み聞かせ隊 [ポッケ]

平成15年 読み聞かせボランティアを募り、「温海絵本読み聞かせ隊 [ポッケ]」を設立する。

《活動》 ・七夕、夏休み、お月見、クリスマスおはなし会（図書館事業）
・派遣事業 小学校、保育園、授産施設などで紙芝居、絵本の読み聞かせ、エプロンシアターなどを行っている。

鶴岡市郷土資料館の概要

鶴岡市郷土資料館は、昭和51年に郷土の文化遺産、とりわけ文献資料を取り扱う県内最初の文書館的施設として設置された。設置目的は、それまで図書館で収集してきた郷土資料を末永く保存するとともに、散逸・消滅の危機にさらされている民間の資料を調査・収集・受託し、これらに本格的な整理を施して一般の利用に供するというものである。また「鶴岡市史資料編」刊行のための事務局も兼ね、図書館・市史編纂室と三者一体となって運営されることになった。

その後、昭和60年新図書館の竣工・開館にともない、展示機能だけを残して、ほとんどの業務は新図書館の郷土資料室に移された。平成11年度からは展示機能も移され、さらに建物の解体に伴い、平成20年1月より名実ともに図書館2階に併設となり、史料の所在調査・収集・整理・保存・閲覧・展示・参考相談、各種講座の開催などの業務を行っている。

収蔵文書の代表的なものをあげれば次の通りである。

- 幕領角田二口村の名主・酒造家佐藤家の「二口文書」(4,600点余 典籍1,571冊)
- 温海組13ヶ村の大庄屋・本間家の「温海文書」(1,375点)
- 清川組などの各地の大庄屋を勤めた斎藤家の「清川斎藤家文書」(3,800点)
- 鶴岡城下の町人町を総括していた町大庄屋の「宇治家文書」(358点)
- 酒田の廻船問屋「鑑谷家文書」(563点)「尾関家文書」(1,679点)
- 藩庁文書を分類・整理した「閑散文庫」(206冊)
- 家老の「竹内家文書」(職務日誌など1,128点)
- 藩の公式文書を取扱った右筆「辺見家文書」(402点)
- 加茂の大地主「秋野家文書」(25,000点)
- 大山の酒造家・村役人「羽根田家文書」(4,019点)
- ワッパ騒動に関する「森藤右衛門文書」(132点)
- 心学の普及に尽くした荒井和水の「荒井家心学史料」(167点)
- 郷土史家「阿部正己文庫」(松山藩史料や北海道史料を含む。5,030点)
- 自由律の俳人「渡会愚守史料」(860点)
- 軍人思想家「石原莞爾史料」(遺品・原稿・関係文献8,410点)
- 郷土の近世近代史研究家「佐藤誠朗文庫」(書籍・原稿・関係文献8,100点)
- 北海道開拓使大判官をつとめた「松本十郎史料」(3,535点)
- 郷土写真分類表(4,300点)

このほかに、京田・湯田川・関根・堅苔沢・大網など各地区の地方文書、藩校致道館の蔵書、旧鶴岡町役場資料などの行政文書など、その総数は447件・約23万点(未整理を含む)に上っている。

なお、これらの古文書で寄託された史料のうち、一部については『諸家文書目録』(12冊)に収録され、刊行されている。

令和3年度 郷土資料館事業実施状況

事業名	対象	事業内容	実施時期(参加人数)
企画展	一般	「新整組展」	R3年6月11日～9月20日 278人
		「大山御領の村絵図」	R4年1月4日～R4年4月 17日 138人
郷土史講座	一般	「『酒田県』の設置と明治政府」 講師 門松秀樹氏(東北公益文科大学准教授)	3月26日 (48人)
		「薩摩藩邸焼き討ち事件の関係者とその評価」 講師 岩立将史氏(中央大学文学部兼任講師)	3月27日 (47人)

令和4年度 郷土資料館主要事業

事業名	対象	事業内容	実施時期
企画展	一般	「大泉紀年の時代展」	4月26日～9月19日
		「江戸市中取締展」	10月7日～12月11日
		「庄内の俳諧展」	1月～
歴史講演会	一般	未定	3月
古文書解説講座	一般	崩し字を読むことで、郷土の歴史理解を深める	1月
郷土史講座	一般	地元の研究者による郷土の歴史や文化に関する講座	3月

鶴岡市立図書館協議会 委員名簿

No.	氏 名	性別	所 属 ・ 役 職 等
1	中 村 ちか子	女	鶴岡市小学校長会（朝暘第二小学校長）
2	笹 山 一 夫	男	朗読ボランティアわらしべの会会長
3	井 上 裕 子	女	おはなしボランティア「おはなしポケット」会長
4	草 島 陽 子	女	社会教育委員
5	池 田 達 枝	女	中央公民館運営審議会委員
6	宮 島 昭 子	女	学識経験者
7	五十嵐 武	男	学識経験者
8	三 浦 洋 介	男	学識経験者
9	本 間 積	女	学識経験者
10	安 藤 幸 子	女	学識経験者
11	鈴 木 邦	女	ボランティア「アナンシ」会員
12	小野寺 せ つ	女	学識経験者
13	鈴 木 和 子	女	ボランティア「温海絵本読み聞かせ隊ポッケ」代表

◎任期 令和3年9月1日から令和5年8月31日まで

郷土資料館運営委員会 委員名簿

No.	氏 名	性別	所 属 ・ 役 職 等
1	阿 部 博 行	男	鶴岡市史編さん委員
2	佐々木 勝 夫	男	元小学校長、庄内文化センター講師
3	齋 藤 和 久	男	元高校長
4	渡 部 幸	女	出羽三山歴史博物館学芸員
5	本 間 豊	男	致道博物館学芸部長
6	升 川 繁 敏	男	元小学校長、鶴岡市史編さん委員
7	黒羽根 洋 司	男	学識経験者
8	森 木 三 穂	女	鶴岡工業高等専門学校助教

◎任期 令和3年9月1日から令和5年8月31日まで

鶴岡市子ども読書活動推進委員会 委員名簿

No.	氏 名	性別	所 属 ・ 役 職 等
1	井 上 裕 子	女	おはなしボランティア「おはなしポケット」会長
2	渡 邊 敦	男	YAMAGATA DESING 株式会社 KIDS DOME SORAI 館長
3	三 浦 洋 介	男	学識経験者
4	谷 江 る み	女	民田保育園 主任保育士
5	中 村 ちか子	女	鶴岡市小学校長会（朝暘第二小学校長）
6	佐 藤 大 吾	男	鶴岡市中学校長会（楡引中学校長）
7	兼 子 由 香	女	山形県立鶴岡中央高等学校長
8	忠 鉢 春 香	女	鶴岡市PTA連合会母親委員長
9	丹 生 直 子	女	公募委員

◎任期 令和4年8月1日から令和6年7月31日まで

○鶴岡市立図書館設置条例

平成17年10月1日

条例第95号

改正 平成24年3月23日条例第20号

平成28年12月16日条例第37号

(設置)

第1条 図書館法(昭和25年法律第118号。以下「法」という。)第10条の規定に基づき、
鶴岡市立図書館(以下「図書館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 図書館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
鶴岡市立図書館	鶴岡市家中新町14番7号

(分館)

第3条 図書館に分館を置く。

2 分館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
鶴岡市立図書館藤島分館	鶴岡市藤島字山ノ前99番地
鶴岡市立図書館羽黒分館	鶴岡市羽黒町荒川字前田元89番地
鶴岡市立図書館櫛引分館	鶴岡市上山添字文栄60番地
鶴岡市立図書館朝日分館	鶴岡市下名川字落合220番地
鶴岡市立図書館温海分館	鶴岡市温海戊577番地1

(一部改正〔平成28年条例37号〕)

(職員)

第4条 図書館に、館長、分館長専門的職員その他必要な職員を置く。

(図書館協議会)

第5条 法第14条第1項の規定により、図書館に鶴岡市立図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、15人以内とし、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育又は社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者

(3) 学識経験者

- 3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(一部改正〔平成24年条例20号〕)

(委任)

第6条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成17年10月1日から施行する。

(任期の特例)

- 2 この条例の施行の日以後、最初に第5条の規定により委嘱される委員の任期は、同条の規定にかかわらず、委嘱された日から平成19年3月31日までとする。

附 則 (平成24年3月23日条例第20号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則 (平成28年12月16日条例第37号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成29年1月10日から施行する。

(鶴岡市羽黒コミュニティセンター設置及び管理条例の一部改正)

- 2 鶴岡市羽黒コミュニティセンター設置及び管理条例(平成17年鶴岡市条例第23号)の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

○鶴岡市立図書館設置条例施行規則

平成17年10月1日

教育委員会規則第26号

改正 平成18年3月24日教育委員会規則第3号

平成21年2月20日教育委員会規則第6号

平成23年2月18日教育委員会規則第1号

平成23年9月30日教育委員会規則第15号

令和2年2月20日教育委員会規則第2号

(趣旨)

第1条 この規則は、鶴岡市立図書館設置条例（平成17年鶴岡市条例第95号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(職員)

第2条 鶴岡市立図書館（以下「図書館」という。）に、館長、分館長を置き、必要に応じ館長補佐、主査、係長、業務名を冠する専門員、専門員、技能専門員、主任、技能主任、主事その他の職員を置くことができる。

2 館長及び分館長は図書館の業務を掌理し、所属職員の指揮監督を行う。

3 館長補佐は、上司の命を受け、館長の職務を補佐し、担当業務を処理するとともに、所属職員を指揮監督する。

4 主査は、上司の命を受け、所定の業務を処理するとともに、所属職員を指揮監督する。

5 係長及び業務名を冠する専門員は、上司の命を受け、担当する業務を処理するとともに、所属職員を指揮する。

6 専門員、技能専門員、主任、技能主任、主事その他の職員は、上司の命を受け、担当する業務を処理する。

(一部改正〔平成23年教委規則15号〕)

(協議会の委員長及び副委員長)

第3条 条例第5条第1項に規定する鶴岡市立図書館協議会（以下「協議会」という。）に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、協議会の議長となり、会議を主宰する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(開館時間)

第4条 図書館の開館時間は、午前9時30分から午後7時まで（12月から翌年の2月までは午前9時30分から午後6時まで）とする。ただし、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「祝日法による休日」という。）は、午前9時30分から午後5時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、分館の開館時間は、別表第1のとおりとする。

3 館長は、前2項の開館時間により難い特別な事由があると認める場合は、開館時間を変更することができる。

（一部改正〔平成18年教委規則3号〕）

(休館日)

第5条 図書館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日（祝日法による休日に当たるときはその翌日）

(2) 12月29日から翌年の1月3日まで

(3) 特別図書整理期間（2月の第1月曜日からその翌週の水曜日までの日）

2 前項の規定にかかわらず、分館の休館日は、別表第2のとおりとする。

3 館長は、前2項の休館日により難い特別な事由があると認める場合は、臨時に休館日を変更し、又は休館することができる。

（一部改正〔平成18年教委規則3号〕）

(利用手続)

第6条 図書館資料（以下「資料」という。）を利用しようとするときは、別に定めるところにより所要の手続を経なければならない。

(弁償)

第7条 資料を紛失し、破損し、又は汚損したときは、現品又は相当の代金で弁償しなければならない。ただし、館長がやむを得ない事情があると認めるときは、この限りでない。

(資料の寄贈及び寄託)

第8条 資料を図書館に寄贈し、又は寄託しようとする者は、館長の承認を得、その指示に従ってこれを行わなければならない。

(利用の制限)

第9条 館長は、条例若しくはこの規則に違反した者、館長の指示に従わない者又は不都合な行為があると認められる者に対して、図書館の利用を拒み、又は退館を命ずることができる。

附 則

この規則は、平成17年10月1日から施行する。

附 則（平成18年3月24日教委規則第3号）

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成21年2月20日教委規則第6号）

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成23年2月18日教委規則第1号）

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成23年9月30日教委規則第15号）

この規則は、平成23年10月1日から施行する。

附 則（令和2年2月20日教委規則第2号）

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

別表第1（第4条関係）

（一部改正〔平成21年教委規則6号・23年1号・令和2年2号〕）

名称	開館時間
鶴岡市立図書館藤島分館	午前9時から午後5時まで
鶴岡市立図書館羽黒分館	午前9時から午後6時まで（土曜日、日曜日及び祝日法による休日にあつては、午前9時から午後5時まで）
鶴岡市立図書館櫛引分館	午前9時から午後6時まで（土曜日、日曜日及び祝日法による休日にあつては、午前9時から午後5時まで）
鶴岡市立図書館朝日分館	午前9時から午後6時まで（土曜日、日曜日及び祝日法による休日にあつては、午前9時から午後5時まで）
鶴岡市立図書館温海分館	午前9時から午後5時まで

別表第2（第5条関係）

（一部改正〔平成21年教委規則6号・23年1号〕）

名称	休館日
鶴岡市立図書館藤島分館	(1) 月曜日 (2) 12月29日から翌年の1月3日まで
鶴岡市立図書館羽黒分館	12月29日から翌年の1月3日まで

鶴岡市立図書館櫛引分館	(1) 月曜日（祝日法による休日に当たるときはその翌日） (2) 12月29日から翌年の1月3日まで
鶴岡市立図書館朝日分館	(1) 月曜日（祝日法による休日に当たるときはその翌日） (2) 12月29日から翌年の1月3日まで
鶴岡市立図書館温海分館	12月29日から翌年の1月3日まで

○鶴岡市立図書館利用規程

平成17年10月1日

教育委員会告示第6号

改正 平成20年4月17日教育委員会告示第1号

改正 令和4年1月20日教育委員会告示第2号

(趣旨)

第1条 この告示は、鶴岡市立図書館設置条例施行規則（平成17年鶴岡市教育委員会規則第26号）第6条の規定に基づき、鶴岡市立図書館（以下「図書館」という。）の図書館資料（図書館法（昭和25年法律第118号）第3条第1号に規定する図書館資料をいう。以下同じ。）の利用に関し必要な事項を定めるものとする。

(利用心得)

第2条 図書館資料を利用しようとする者は、取扱いを丁重にし、汚損、破損、紛失等のないよう努めるとともに、全て館員の指示に従わなければならない。

(利用の制限)

第3条 館長及び分館長は、この告示に違反した者、館内の風紀秩序を乱した者又は館員の指示に従わない者に対し、図書館資料の利用について制限することができる。

(利用場所)

第4条 図書館資料は、指定された場所以外では利用することができない。

(図書館資料の複写)

第5条 図書館資料の複写を希望する者（以下この条において「利用者」という。）は、複写申込書に必要事項を記入し、館長あて申し込まなければならない。

2 図書館資料の複写は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条の範囲内に限って認めるものとする。

3 複写に要する費用は、利用者の負担とする。

(館外利用)

第6条 図書館資料の館外利用は、利用カードによって行う。

(利用カードの交付)

第7条 利用カードの交付を受けようとする者は、利用カード申込書を館長に提出し、登録を受けなければならない。

2 利用カードの交付を受けることができる者は、庄内地域に居住する者に限る。

(届出義務)

第8条 利用カードの交付を受けた者は、利用カード申込書の記載事項に変更が生じたとき又は利用カードを亡失し、若しくは盗難にあったときは、遅滞なくその旨を館長に届け出なければならない。

(貸与又は譲渡の禁止)

第9条 利用カードは、他人に貸与し、又は譲渡してはならない。

2 前項に違反する行為によって生じた図書館の損害については、利用カードの交付を受けた者が負担しなければならない。

(館外利用冊数)

第10条 同一人が同時に館外利用できる図書館資料の数は、10冊以内とする。

(貸出期間)

第11条 図書館資料の貸出期間は、貸出しの日から2週間以内とする。

2 あらかじめ申出のあった場合で、館長が特に必要と認めるときは、前項の規定にかかわらず、更に2週間以内に限りこれを延期することができる。

3 館長が特に必要と認めるときは、期限内であっても図書館資料の返納を求めることができる。

(団体貸出)

第12条 市内の各種団体が、団体貸出しを利用しようとするときは、団体貸出し利用申込書に所定事項を記入し、申し込まなければならない。

2 1団体に同時に貸出しできる図書館資料の冊数及びその期間は、館長が別に定める。

3 団体貸出し利用申込書は、毎年度更新するものとし、その記入事項に変更があったときは、遅滞なく館長に届け出なければならない。

(貸出しの制限)

第13条 図書館資料のうち、次に掲げるものは、館外利用をすることができない。

(1) 郷土資料

(2) 新聞、官公報等

(3) 参考図書

(4) 前3号に掲げるもののほか、館長が指定したもの

2 次条第1項の規定により第7条第1項の登録(以下「登録」という。)を取り消された者は、

館外利用をすることができない。ただし、同条第2項の規定により再登録を受けた場合は、この限りでない。

(延滞)

第14条 館長は、貸出期間満了の督促を2回以上受けた者（以下「延滞利用者」という。）に対し、その登録を取り消すことができる。

2 前項の規定により登録の取消しを受けた者は、取消しの日から2月を経過しなければ再登録をすることはできない。

3 延滞利用者に貸し出した図書館資料の回収に要する費用は、当該延滞利用者の負担とする。

(特別貸出)

第15条 公用その他館長が特に必要と認めるときは、利用カードの有無又は第13条の規定にかかわらず、館外利用をすることができる。

(自動車文庫の利用)

第16条 自動車文庫の利用についての必要事項は、館長が別に定める。

(その他)

第17条 この告示に定めるもののほか、図書館の利用に関し必要な事項は、館長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、平成17年10月1日から施行する。

(経過措置)

2 この告示の施行の日の前日までに、合併前の鶴岡市立図書館利用規程（昭和45年鶴岡市教育委員会規程第2号）の規定によりなされた決定、手続その他の行為は、この規則の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則（平成20年4月17日教委告示第1号）

この告示は、平成20年5月1日から施行する。

附 則（令和4年1月20日教委告示第2号）

この告示は、令和4年4月1日から施行する。

○鶴岡市郷土資料館設置及び管理条例

平成17年10月1日

条例第96号

改正 平成19年12月25日条例第53号

(設置)

第1条 郷土に関する文献等を収集、保存し、これを一般の利用に供し、もって市民の文化向上に資するため、鶴岡市郷土資料館（以下「資料館」という。）を設置する。

(名称及び位置)

第2条 資料館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
鶴岡市郷土資料館	鶴岡市家中新町14番7号

(一部改正〔平成19年条例53号〕)

(職員)

第3条 資料館に、館長その他必要な職員を置く。

(開館時間)

第4条 資料館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。

(一部改正〔平成19年条例53号〕)

(休館日)

第5条 資料館の休館日については、鶴岡市立図書館に準ずるものとする。

(運営委員会)

第6条 資料館の業務の円滑な運営を行うため、鶴岡市郷土資料館運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

- 2 委員会の委員は、10人以内とし、学識経験者のうちから教育委員会が委嘱する。
- 3 委員会に専任委員を置くことができる。
- 4 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第7条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年10月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日以後、最初に第6条第2項の規定により委嘱される委員の任期は、同条第4項の規定にかかわらず委嘱された日から平成19年3月31日までとする。

附 則 (平成19年12月25日条例第53号)

この条例は、平成20年1月1日から施行する。

○鶴岡市郷土資料館設置及び管理条例施行規則

平成17年10月1日

教育委員会規則第27号

改正 平成23年9月30日教育委員会規則第16号

(趣旨)

第1条 この規則は、鶴岡市郷土資料館設置及び管理条例（平成17年鶴岡市条例第96号）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(職員)

第2条 鶴岡市郷土資料館（以下「資料館」という。）に、館長を置き、必要に応じ館長補佐、主査、係長、業務名を冠する専門員、専門員、技能専門員、主任、技能主任、主事及びその他の職員を置くことができる。

2 館長は、資料館の業務を掌理し、所属職員の指揮監督を行う。

3 館長補佐は、上司の命を受け、館長の職務を補佐し、担当業務を処理するとともに、所属職員を指揮監督する。

4 主査は、上司の命を受け、所定の業務を処理するとともに、所属職員を指揮監督する。

5 係長及び業務名を冠する専門員は、上司の命を受け、担当する業務を処理するとともに、所属職員を指揮する。

6 専門員、技能専門員、主任、技能主任、主事及びその他の職員は、上司の命を受け、担当する業務を処理する。

(一部改正〔平成23年教委規則16号〕)

(利用の手続)

第3条 資料館の文献等（以下「資料」という。）の利用は、閲覧票を提出し、館内で行うものとする。

2 館長は、特別の事由があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、必要な条件を付して資料を貸し出すことができる。

(利用に供さない資料)

第4条 資料館の資料で、次に掲げる場合には一般の利用に供さないものとする。

(1) 特に重要な資料で損傷し易い等の理由により、利用に供することが不相当と認めるとき。

(2) 資料館業務の遂行に支障があると認めるとき。

(3) 前2号に掲げるもののほか、館長が不相当と認めるとき。

(行為の禁止)

第5条 入館者は、資料館において次の行為をしてはならない。

- (1) 風致を害し、他人の迷惑となる行為
- (2) 建物、附属設備及び資料を汚損し、若しくは損傷し、又は滅失するおそれのある行為
- (3) 資料の無断撮影

(利用の禁止)

第6条 館長は、この規則に違反し、又は管理上支障があると認めるときは、資料館の利用を拒み、又は退館を命ずることができる。

(損害賠償)

第7条 利用者は、自己の責めに帰すべき理由により、資料館の施設、設備及び資料を汚損し、若しくは損傷し、又は滅失したときは、教育委員会の指示するところによりその損害を賠償しなければならない。

(資料の寄贈及び寄託)

第8条 資料館に資料を寄贈し、又は寄託しようとする者は、館長の承認を得、その指示に従ってこれを行うものとする。

(資料館運営委員会)

第9条 資料館運営委員会（以下「委員会」という。）は、館長の諮問に応じ、資料館の運営方針及び必要な業務について調査、審議する。

(委員長及び副委員長)

第10条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によって定める。

- 2 委員長は、委員会の議長となり、会議を主宰する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときはその職務を代理する。

(その他)

第11条 この規則によるもののほか、資料館の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成17年10月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則の施行の日の前日までに、合併前の鶴岡市郷土資料館設置条例施行規則（昭和51

年鶴岡市教育委員会規則第3号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この規則の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則 (平成23年9月30日教委規則第16号)

この規則は、平成23年10月1日から施行する。

令和4年度 鶴岡市立図書館
鶴岡市郷土資料館 要覧

編集発行 鶴岡市立図書館 鶴岡市郷土資料館
山形県鶴岡市家中新町14-7

発 行 令和4年 9月

鶴岡市立図書館

本館 〒997-0036 鶴岡市家中新町14-7

電話 (0235)25-2525 FAX (0235)25-2526

藤島分館 〒997-7601 鶴岡市藤島字山ノ前99 東田川文化記念館内

電話(0235)64-2537(代表)

羽黒分館 〒997-0141 鶴岡市羽黒町字前田元89番地 羽黒庁舎内

電話(0235)62-2111(代表)

櫛引分館 〒997-0346 鶴岡市上山添字文栄60番地 櫛引情報センター内

電話(0235)57-5681

朝日分館 〒997-0492 鶴岡市下名川字落合220番地 朝日中央コミュニティセンター内

電話(0235)53-2111(代表)

温海分館 〒999-7205 鶴岡市温海戊577番地1 温海ふれあいセンター内

電話(0235)43-4411(代表)

鶴岡市郷土資料館

〒997-0036 鶴岡市家中新町14-7(図書館本館二階)

電話(0235)25-5014 FAX : 25-2526